

第17回まちづくり協議会 検討会を開催！

令和7年2月16日

東久保町会館に於いて、少ない参加者19名であったが定例の「まちづくり検討会」を開催した。

横浜市では現在、「新たな地震防災戦略」(案)を策定中で、今後はこれを参考に進めていきたい。

[令和6年度 協議会の主な計画の実践状況]

1. まちづくりニュースは、年2回発行を予定し7月に37号、3月には38号を発行します。
2. 他地区交流では7月、一本松協議会西戸部公園開園時の「カエルキャラバン」に参加し交流を行った。
3. 防災イベントは横浜市と協力し、富士見台小学校で、こどもぼうさいの日「イザ！カエルキャラバン」を開催した。



報告：佐藤副会長 議長：村上会長

[令和6年度 各部の主な事業の推進状況]

各部の事業は、協議会年度計画を推進する中で行った。主な実践状況は次のとおり



(空席が目立った)参加者席

① いえ・みち事業部

- 避難路安全対策事業は、東睦会エリアの階段手摺設置を検討した。
- 行止り箇所改善は、円満寺様や東京電力(株)の計画を確認した。
- 新築計画の事前協議は、計13件を実施し、依頼要望を行った。

② 災害対策合同本部

- 防災設備の点検を行い、備蓄水缶の整理と補充を実施した。
- 防災広場は年3回清掃し、安否確認や生活訓練で利活用した。
- 1月「こどもぼうさいの日」を富士見台小学校で実施した。
- 安否確認訓練を2回実施し、平均確認率は61%でした。



東久保町 こどもぼうさいの日「イザ！カエルキャラバン」 富士見台小学校で開催！！

家具転倒防止（まちがい探し）



避難所（紙食器づくり）



令和7年1月19日（日）「東久保町こどもぼうさいの日」を、富士見台小学校で開催した！

横浜市役所、西区役所、NPO 法人プラス・アーツ、西消防署・消防団のサポートを、また、富士見台小学校生徒・PTAの皆さま他にご協力を頂き、防災体験プログラムを行いました。

運動場では「バケツリレー」で盛り上がり「水消火器での的あてゲーム」を行い、体育館内では「毛布で担架タイムトライアル」、「なまずの学校」、「紙食器づくり」、「富士見台小 未来ひらき隊」、「横浜市 防災ちがい探し」など、富士見台小学校5年3組の生徒さんにお手伝いを頂き実施しました。

オークションでは、子供たちがポイントの交換による欲しいおもちゃをゲットしたい熱気に圧倒され、おもちゃコーナーでは、幼い子が16時の終了時間まで「どのおもちゃにしようか！」と迷っていました。多くの若い家族の方が、交換用のおもちゃを持ってきて頂き、ありがとうございました。

総勢、約250名の方が参加して頂き、無事終了しました。（記 稲田・写真 西区役所 秋山）

お家の防災グッズなあに？（クイズ）

未来ひらき隊（富士見台小5年）



対決！ バケツリレー



水消火器（的あてゲーム）



毛布で担架（タイムトライアル）



東久保町こどもぼうさいの日 主催者 パチリ

おもちゃのオークション



体育館内 左：受付 中央：おもちゃコーナー

なまずの学校（カードゲーム）



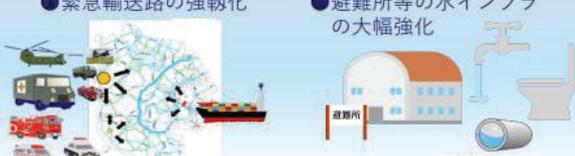
防災まちづくり課（防災ちがい探し）

横浜市からのお知らせ

新たな「横浜市地震防災戦略」(案)

4つの柱について(令和7年度の予算案より抜粋)

横浜市では令和7年度から、いつ起きてもおかしくない大規模地震による市民の命と暮らしを守るため、新たな「横浜市地震防災戦略」を策定し、地震火災対策を強化・促進します。

<p>1</p> <p>市民や地域の“発災前からの備え”を強化</p> <ul style="list-style-type: none">●地震火災対策の強化●木造住宅耐震化の促進  <p>計7.7億円</p>	<p>2</p> <p>誰もが安心して避難生活を送れる環境改善</p> <ul style="list-style-type: none">●避難所環境の向上●要援護者の支援  <p>計52.4億円(※)</p>
<p>3</p> <p>本市初の広域防災拠点</p> <p>広域防災拠点の整備(旧上瀬谷通信施設地区)</p> <ul style="list-style-type: none">●方面別備蓄庫整備●現地司令施設整備  <p>計4.6億円</p>	<p>4</p> <p>災害に強いまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none">●緊急輸送路の強靱化●避難所等の水インフラの大幅強化  <p>計17.8億円</p>

問い合わせ先：都市整備局防災まちづくり推進課 西田 佐藤(045-671-3664)

横浜市における事前復興の取組について

大規模被害を受けた場合に円滑にまちを再建するため「復興まちづくりへの備え」として、横浜市では復興マニュアルの策定や職員模擬訓練の実施等、事前復興の取組を始めています。

そこで、日頃から防災まちづくり活動を行われている協議会の皆さまに、復旧・復興の流れを示すリーフレット(案)をご提示しご意見を頂きました。今後、頂いた意見を踏まえて精査し、より分かりやすい内容にしていきます。ご協力ありがとうございました。

都市整備局防災まちづくり推進課 西田 佐藤

一お知らせ一 火災感知器の電池交換について

火災感知器は、総務省や消防署の指導によって、平成26年(2011)頃から各家庭で取り付け、2025年で10年以上を経過しています。

この感知器は電源に電池(リチウム電池)を使用していますが、寿命が約10年となっており、交換が必要な時期になっています。このため各家庭で自動試験を行うか、期限で取替の警報(ピピ)が出てきます。

取替電池は約千円位ですので、電池取替が出来る人に依頼してください。交換用リチウム電池



[編集委員] 村上秀・志鳥・安藤・稲田・橋本

【問い合わせ先】 ☆東久保町夢まちづくり協議会

〒220-0062 横浜市西区東久保町29-11(東久保町会館内)